

自分の学習について分析します

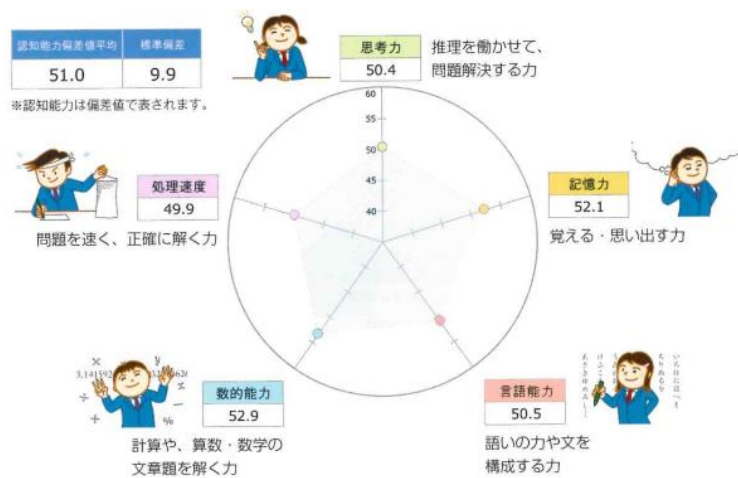
今日の1、2時間目に『教研式認知能力検査 NINO』を実施しました。これは、簡単に言うと、自分の学習について分析をするテストのようなものです。これは、今年初めて使うもので、今後の学習にいかすことができる検査です。

NINO では、以下の5つの認知能力を測定します。



① 学習する上で必要な5つの認知能力を測定

認知能力を「思考力」「言語能力」「数的能力」「記憶力」「処理速度」の5つの視点で測定します。



検査を受けている様子です

学習をする上で必要となる力を、「思考力」「言語能力」「数的能力」「記憶力」「処理速度」の5つの視点で測定します。そして、事後に送られてきた個人票には、5つの能力とアンケート結果をもとに、「得意なこと」や「がんばってほしいところ」「気をつけてほしいこと」など、今後の学習に関するアドバイスが書かれています。それをもとに学習に取り組んでみましょうというものです。

人それぞれ、得手不得手があります。私は、暗記が苦手でした。単純に覚えるものがどうも頭に入りませんでした。例を挙げると、『広島県と岡山県は、どちらが西側にあるのか?』『果実の生産高が最も高い県はどこか?』といったことです。「そうになっているから」という事実を覚えるのは苦手で、なかなか頭に入りませんでした。代わりに計算や、「なぜ?」「どうして?」を考えることは好きでした。ですので、私は理系に進み、理科の教員になりました。

子ども達と授業で関わっていてもたくさんの個性に出会ってきました。記憶力が良い生徒、計算が速い生徒、じっくり考える生徒、目から見た情報をもとに考える生徒、耳で聞いた情報をもとに考える生徒、文章表現が得意な生徒・・・本当に様々な個性があります。

各自の個性を理解し、個性をいかして勉強すれば、より効果的な学習ができます。検査結果を、ぜひ今後の学習にいかしてほしいと思います。



☆ 素敵な掲示物に出会いました（2年国語の授業で、書道をしました）

春はあけぼの
やうやう白くなりゆく
山ぎは、すこしあかりて、
紫だちたる雲のほそく
たなびきたる

夏は夜月のころはきらなり
なほ堂の多く飛びちかひたる
ただ一つ二つなどほのかにうち光りて
行くもきかし雨など降るもをかし

秋は夕暮れ夕日のさして
山の端いと
近うなりたるに鳥の寝どこ
ろへ行く
とて三つ四つ二つ三つなど
飛びいそ
ぐさへあはれなり

春はあけぼの。やう
やう白くなりゆく山ぎ
は、すこしあかりて、
紫だちたる雲のほそく
たなびきたる。

春はあけぼの。やう
やう白くなりゆく山ぎ
は、すこしあかりて、
紫だちたる雲のほそく
たなびきたる。

春はあけぼの。やう
やう白くなりゆく山ぎ
は、すこしあかりて、
紫だちたる雲のほそく
たなびきたる。